

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: IQ TOUR PURPLE

COLOR: PURPLE




COVER STOCK: R2S™ PRO PEARL REACTIVE

RG: 2.49(MED/15P) ΔRG: 0.029 (LOW/15P)

FACTORYFINISH: 1500GritPOLISH

TRACKFLAREPOTENTIAL: 4-6(MID)

BACK END: 16 LENGTH: 15 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

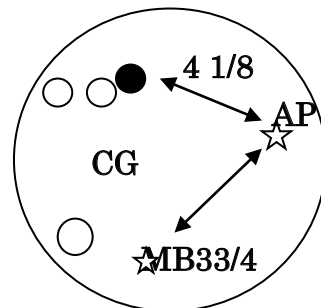
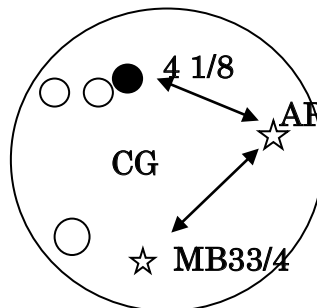


2022 年 12 月 14 日

レイアウト例

IQ TOUR BLUE

IQ TOUR PURPLE

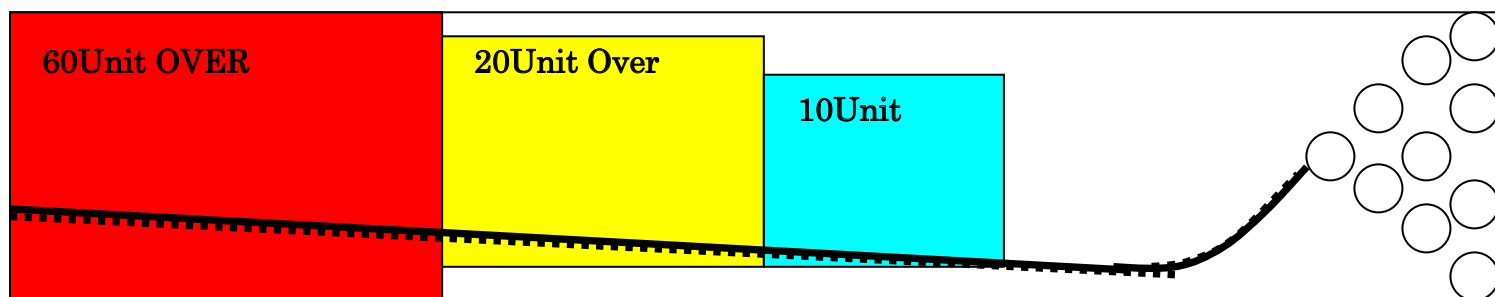


CA55 度/PSA2

CA55 度/PSA2

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4



0F

15F

35F

45F

比較品ライン

IQ TOUR PURPLE

IQ TOUR BLUE

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アー	ク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5			
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△					

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

IQ シリーズの中でも直線的にラインを取るのに最適な仕上がりで、オイルに強くも弱くもない感覚は正にオールラウンダーの仕上がりで、曲がりも切れるというよりは寄ってくる感じですので投げやすいですね。手前のオイルの少ない時でも素晴らしい直線的なラインが描けます。

【ここがポイント】



皆さんが IQ シリーズに求める物、それはミディアムドライ時のスムーズな走りであると思いますが今回 PRO 素材(フィラ)を混入した事で、中盤からバックエンドにかけての摩擦力はあるのでしっかりと立ち上がりが見えるので従来品と比べると、力強く感じる印象ですね。IQ シリーズは全体的なスムーズ差が特徴なので内蔵されている C3 セントリピタルコアは極力無駄な動きをしないので難しいレーンコンディショニングやレーン手前のオイルが薄くなった状況では非常に良い動きを出します。更に PRO 素材効果でピンアクションも向上していますので飛びも抜群ですね。

発売予定: 2023 年 6 月中旬

石原 章夫プロ【株式会社スポーツ専属プロモーター】 テスト協力センター: 川崎グランドホテル